

赤松小三郎エッセイ賞募集



- 【主催】 赤松小三郎研究会（上田高等学校関東同窓会）
- 【原稿の長さ】 600字～800字程度
- 【応募資格】 どなたでもご応募いただくことができます。
- 【応募締切り】 2023年10月15日（日）
- 【賞金等】 エッセイ賞 1名（賞金3万円）
優秀賞 3名（各図書券3千円）
- 【募集要項】 詳細は別紙募集要項をご参照ください。

—赤松小三郎研究会設立10周年記念—
「赤松小三郎エッセイ賞」募集要項

赤松小三郎研究会
(上田高等学校関東同窓会)

赤松小三郎研究会では、設立10周年を記念して、次のとおり、「赤松小三郎エッセイ賞」を募集します。多くの皆さまのご応募をお待ち申し上げます。

- 【募集趣旨】： 赤松小三郎についての幅広い関心を高めるとともに、その事績についての理解の増進に寄与します。
- 【テーマ】： 赤松小三郎について日頃感じていることを自由にお書きください。また、タイトルは、原則として、「赤松小三郎と私」としますが、特にご希望の場合には、別タイトルでも結構です。
- 【原稿の長さ等】： 600字～800字程度の長さで、未発表のものに限ります。
- 【募集期間】： 2023年6月18日(日)～10月15日(日)とします。
- 【応募資格】： どなたでもご応募いただくことができます。
- 【選考】： 赤松小三郎研究会の「『赤松小三郎エッセイ賞』選考委員会」において、受賞作品(1点)と優秀作品(3点)を選考します。
- 【発表等】： 11月16日(月)、上田高等学校関東同窓会ホームページ(uedakant.sakura.ne.jp)で、受賞作品及び優秀作品を発表するとともに、受賞者及び優秀作品の作者にご連絡いたします。
このほか、受賞作品及び優秀作品については、インターネット及び利用可能な紙媒体を通じ、ご紹介いたします。
ご応募は、以上についてご了解の上、お願い申し上げます。
- 【賞金等】： エッセイ賞受賞者には賞金3万円を、優秀作品の作者にはお1人につき図書券3千円分を、それぞれ贈呈するとともに、「赤松小三郎講演会」(日比谷図書文化館で11月26日(日)開催)にご招待いたします(交通費等は、ご負担をお願いいたします)。
- 【表彰等】： 上記「赤松小三郎講演会」の会場において、受賞者の表彰及び優秀作品作者のご紹介をいたします。
- 【応募方法】： Eメールで、赤松小三郎研究会事務局(oosakajou@msn.com)あてご応募ください。原稿は、ワード形式(横書き)で、タイトル、氏名(振りかな)、性別、職業(勤務先)、郵便番号・住所、年齢、電話番号を明記してください。
なお、お預かりした個人情報、は、「赤松小三郎エッセイ賞」に関してのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

(参考)

幕末の上田藩士 赤松小三郎

幕末、信州上田藩士赤松小三郎は、京都で開いた洋学塾などで多くの英才を育てるとともに、議会制度の導入などわが国の近代化に向けてのグランドデザイン（憲法草案）を描き、その実現に全力を尽くしました。

赤松小三郎は、残念ながら、慶応3年（1867年）37歳で志半ばにして暗殺されましたが、その先進的な政治思想と優れた洋学の教えは日本の近代化に大きく貢献しました。

赤松小三郎は、天保2年（1831年）、信州上田藩士の次男として生まれ、江戸で内田弥太郎、下曾根金三郎に師事し、数学、天文、測量、暦学、蘭学、砲術を学びました。その後勝海舟に入門し、その供侍（従者）として幕府の長崎海軍伝習所で3年余にわたり航海術など西洋の最新知識を学びました。さらに横浜で英国公使館付け士官アプリン大尉などから英語、英国兵法などを学び、慶応2年（1866年）「英国歩兵練法」を翻訳して、名声を高めました。

その後、京都で私塾を開くとともに、薩摩藩邸、会津藩教場で洋式兵学などを教え、諸藩より学ぶ門下生の数は800余名に上りました。その中には東郷平八郎元帥、上村彦之丞大将など日清、日露戦争で活躍した諸将が含まれています。また、薩摩藩国父島津久光の委嘱により、「重訂 英国歩兵練法」を翻訳しました。

慶応3年（1867年）5月、赤松小三郎が、前幕府政事総裁職（前福井藩主）の松平春嶽、島津久光、幕府などに建言した「建白七策」は、先進的な議会制度の導入などを含む日本の近代化のためのグランドデザイン（憲法草案）を描いたもので、政治史のなかで群を抜いています。

赤松小三郎は、「建白七策」をもとに、天幕一和、諸藩一和のもと上下二局の議政局により内憂外患の時期を乗り切る方策を模索し、西郷隆盛や徳川慶喜への働きかけを行うなど、東奔西走の活動をしました。しかし、明治維新直前の慶応3年（1867年）9月、京都において、弟子の薩摩藩士桐野利秋らにより暗殺されました。享年37歳でした。

上田市（上田城跡公園内）に、赤松小三郎顕彰会が運営する赤松小三郎記念館があります。